

式 辞

東急目黒線武蔵小山駅改札を出て、駅の階段を登ると小山台高等学校のグラウンドから「カッキー、カッキー」と野球部のバッティング練習の音、正門から歩く途中で「おはようございます」の挨拶の声、職員玄関に入るとピアノのメロディ、さらに廊下を行くと、どこからか誰かの歌うハーモニー。駅から校長室までの間に、耳に届く小山台高校の朝の音色です。運動会の前には、応援練習をする生徒の声、合唱コンクール前には校歌と課題曲が校内に溢れます。

また、夕方は、体育館から授業でのバスケットボールの跳ねる音、教室からは先生と生徒との楽しそうなやり取りの音が響きます。

本校では朝から夜まで一日中、生徒の皆さんの声があふれ、先輩たちが築いた伝統を受け継ぎながら、活発に活動しています。

本日ここに、東京都立小山台高等学校 創立100周年記念式典を挙げるにあたり、東京都議会議員様、本校同窓会菊桜会小山台高校創立百周年記念事業実行委員会会長様、同菊桜会会長様、公益財団法人小山台教育財団理事長様をはじめ、多くのご来賓の方々の御臨席と、東京都教育委員会教育長、東京都中部学校経営支援センター担当部長、本校PTA会長様等、多数ご列席を賜り、このように挙行できますことに厚く御礼申し上げます。

本校は大正12年に東京府立第八中学校として開校しました。『品川区史 通史編 下巻』を紐解くと、開校した年には校舎が完成しておらず、前年にできたばかりの三木小学校の一部を借りて授業が行われ、翌13年4月から小山校舎での授業が始まったとあります。また、当時八中に集まる生徒は地元の荏原郡のみでなく、旧市内からの者も多く、通学範囲はかなり広がったとあります。さらに、初代岡田校長は生徒個々人の素質・個性の発揮、伸長を基調とした人格教育を理想として教育を実践したとあります。その後、昭和10年東京府立八中夜間中学を本校内に設置した後、昭和23年に東京都立第八新制高等学校、昭和25年からは東京都立小山台高等学校と改称して、現在に至っています。

本校は、全日制課程と定時制課程が一つの学校内にある併置校です。

全日制課程においては、社会で活躍する有為な人の育成を目指し、校訓である「敬愛・自主・力行」の精神を掲げ、知的好奇心を高める授業、3年間のキャリア教育プログラム、班活動や学校行事、国際交流の推進といった様々な教育活動を通じて、高い志をもって、自らの進路を追求する生徒、学習と行事や班活動の両立に全力で取り組む生

徒、広い視野をもち国際社会で活躍する生徒を育成して参りました。

また、全日制は、平成19年度に東京都教育委員会から「進学指導特別推進校」の指定を受け、難関国公立大学、国公立大学、難関私立大学を目指す進学指導に重点を置き、毎年100名を超える卒業生が国公立大学に合格しております。

定時制課程もまた、同じ教育目標のもと、基礎学力の定着、規範意識の向上、人権尊重の精神の涵養、班活動の活性化等を柱に、生徒の学校への定着を図り、落ち着いた学習環境を維持する中で、生徒の皆さんは4年間の充実した学校生活を送り、成果を上げ、卒業していきます。

これらは、全日制・定時制ともに本校の教育活動を通して培った資質・能力や、最後まで諦めない生徒の皆さんの工夫や努力によるものだと思います。また、本校のすべての教職員が真摯に、丁寧に、情熱をもって教育活動に取り組んでいることによる成果であると思います。

このような中、令和2年には、新型コロナウイルス感染症予防対策として全国の学校が一斉休業となりました。入学式をはじめ、修学旅行、全日制的寒菊祭や定時制の星霜祭など本校の伝統ある学校行事を残念なことに中止せざるを得ない状況でした。感染症による学校教育への影響は現在も続いておりますが、生徒と教職員で知恵を出し合い、保護者の皆様の協力の下、コロナ禍前の学校生活を取り戻しつつあります。そして、困難な状況の中でも、何よりも生徒の皆さんの努力のおかげで伝統ある学校行事が先輩から後輩へと途切れることなく継続され、さらには様々な工夫を加え、発展されたことを大変喜ばしく思います。

本日、本校は創立100周年記念式典を挙行することができました。これを新たな出発点として、次の百年に向けて、教職員と生徒・PTA が一体となり、同窓会菊桜会の皆様及び同窓会偲櫻会の皆様、並びに小山台教育財団、地域の皆様の御協力を得ながら、都民の期待に応え、生徒の夢を叶える学校づくりに邁進することをここに、お約束いたします。今後とも末永く御支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

結びに、開校から今日に至るまでに、本校発展のために御尽力いただきました関係者の皆様方にあらためまして感謝申し上げますとともに、式典に御臨席を賜りましたすべての皆様方の益々の御隆盛と御健康を祈念申し上げ、式辞といたします。

令和5年9月30日

東京都立小山台高等学校長